

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 三者評価機関名

ソキウスコンサルティング(株)

② 設・事業所情報

名称：はぐくみの丘保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：須藤 美栄子	定員（利用人数）：75名（84名）	
所在地：神奈川県厚木市長谷1128-1		
TEL：046-290-2033	ホームページ： https://hagukumi.shinkou-kai.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成23年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 新考会		
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 4名	
専門職員	園長 1名 嘱託医 内科医 1名	
	主任保育士 1名 歯科医 1名	
	副主任保育士 1名	
	保育士 13名 保育士 2名	
	調理員（外部委託）3名	
栄養士（外部委託）1名		
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	7（一時保育室含） 1（相談室）	職員室、更衣室、面談室、給食室、 ドライミスト、エレベーター、駐車場、駐輪場

③ 理念・基本方針

「理念」子ども達の成長を見守り、足跡を未来につなげる。
～君たちの足跡を残したい。～
「基本方針」社会の変化と子ども達の育っていく環境はめまぐるしい程の変化をしています。日本の国内にとどまらず、世界に広がっていく社会環境の中で適応できる子どもとして育っていけるよう子ども達の育っていく道筋をしっかりとみつめながら、「環・食・知」をバランスよく育てていきたいと思えます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・はだし保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促している。
- ・子ども達の意見や会話を大切に、行事内容を子ども達と一緒に作り上げている。
- ・園外散歩を通して、地域の人との交流や、体力の向上を進めている。
- ・個人絵本を購入していただき、保育の中に取り組みむことで、絵本に親しむこと・自分の物を大事にすることを育てている。
- ・全園児、連絡帳アプリを活用。乳児クラスは毎日、幼児クラスは週明けに休みの様子をを入力してもらっている。
- ・毎日、その日の様子を写真付きで保育ダイアリーを保護者に掲示をしている。
- ・毎月、子どもの育ちを写真付きでエピソードを入れたポートフォリオを保護者に渡している。保護者にコメントを書いてもらい、年度末にまとめて保護者に渡している。

- ・一時保育・園庭開放・親子陶芸・LaQ講座等の地域子育て支援に関する取り組みを行っている。
- ・栄養士による月1回の食育講座や、二ヶ月に一度の看護師による健康教育をしている。
- ・年長児のみ、外部講師による英語を取り入れている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月1日（契約日）～ 令和5年 3月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（ 28年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

<特長>

(1) 子どもたちの身体が豊かな自然そして地域と触れあいながら成長することを助け、見守っています。

当園には保育の特徴がいくつもあり相互に関連しています。まず、「はだし保育」を取り入れ靴下を履かない園生活によって足の裏の刺激による体全体の成長を促し、自らの身体で体温調節できるように外気を感じる室温設定にしていることが挙げられます。この特徴はホームページをはじめ、園見学や入園説明会でも保護者に直接説明されて理解を得ています。

この保育の特徴は派生的に他の保育の特徴につながっていきます。自然との触れ合いのために外遊びや園外の散歩を多く取り入れ、子どもたちが周囲の豊かな自然に触れた発見や疑問を自らが図鑑で確かめるような自発的な遊びを誘発しています。また、新旧の住民が混在する地域の多様な年代層との活発な交流の機会が多くなります。

厚木市の中でも豊かな自然がありながら子育て世代の住民も多く、学校、商業施設やぼうさいの丘公園などの生活の拠点が多い環境の中で、地域と共にある法人保育園の伝統を礎に未来に向けて継承しています。

(2) クラス別・担当別を感じさせない工夫や職員のチームワークによって全ての子どもと職員が一体となった保育に取り組んでいます。

園長・主任を始めとする職員間の連携・チームワークの良好さが感じられ、お互いに何でも言い合える職場環境となっています。「全員が担任」の意識が共有されています。乳児担当が子どもを優先すると手が離せない状況になった際には他クラスの担当が自然に手を差し伸べる意識が浸透しています。

0歳児と1歳児、そして4歳児と5歳児の保育室の間に壁がなく、大きな空間で子どもたちが落ちついて生活でき、子どもが自由に選ぶことができる玩具や遊びたいことの幅を広げています、また、2歳児や3歳児を含めた異年齢の子どもとの相互交流も日常的に行われています。また、朝夕の合同保育も1階の比較的大きな部屋で行われ、各年齢の触れあいの機会となっています。

風通しの良い職場環境にするために、曖昧になりがちな保育士の勤務時間のルールが作られて働き方のメリハリがつけられるようになりました。休憩時間の設定や休憩室の確保によって、自由に話し合えて担当や年代を超えてお互いを知りあえる機会となって、自らの保育の振り返りにも役立っています。

(3) 伝える力の強い映像を活用することによって保護者とのコミュニケーションの向上に取り組んでいます。

保護者の希望の一つに「子どもの保育の様子を知りたい、できなければ成長の一

瞬の写真を残したい」がありますが感染症対策やプライバシー保護の観点から叶いにくい状況になっています。

このような時代環境を受けて、クラスごとの様子を玄関ホールに毎日掲示する「保育ダイアリー」の取り組みによって写真つきで保護者に伝えています。

また個々の子どもの様子を写真とエピソードを記載した「ポートフォリオ」を月末に保護者に渡しています。年度末には子どもの1年間の成長を写真で確認できる保育園の思い出として保護者のコメントを記入した年間の成長記録を進呈して喜ばれています。

年度初めの重要な面談・懇談の機会もコロナ感染症によって開催困難な状況が続く、再開の方策としてYouTubeによる動画配信を実現しました。利用者アンケートでも現在の保護者世代には好評な意見がみられ、進化した保護者とのコミュニケーション手段として注目されます。

<今後期待される点>

- (1) 導入された保護者との連絡帳アプリ、ICTの運用経験を積み更なる業務改善の革新が期待されます。

従来、手書きの連絡帳で交わっていた保護者との連絡をアプリの導入によって、保護者と担任がスマホやパソコンで入力できるようになりました。連絡事項の迅速化ばかりでなく子どもの家庭での様子なども適宜伝えあうことができています。スマホを使いこなす保護者世代には利便性が高く、担任にとっては入力作業と記録転記の業務効率化につながっています。

更に、各種の計画づくりや振り返りの書面や記録がパソコンで管理できるICTの運用も開始され、通常の業務に必要な膨大な書類の入力と確認がクラスに1台のパソコンでできるようになり、飛躍的な業務改善となりました。

一方で、ネット社会特有の現象としてシステムや通信の脆弱性に対するセキュリティレベルやシステムツールのバージョンアップによる更新が常に求められることに留意する必要があります。保護者や職員など関連する人々の意見や使い勝手を検証しながら改良を重ね、構築されていくことが期待されます。

- (2) 気候変動における実効性高い災害対策に向けた見直しが期待されます。

火災と比較的大きな地震を想定した災害対策や既存の各種の感染症対策の組織的な経験も積んでいます。しかし、近年の自然環境は既存の災害とは別次元の予測が困難な局所的な降雨による水害や土砂崩れの可能性もある状況です。また、各種行事の中止や懇談・面談の機会減少を余儀なくされた世界的なコロナ感染症まん延を経験しましたが、変異を繰り返す感染症の今後を正確に予測することは極めて困難といえます。

局所的な災害に対しては散歩コースや地域の施設に係る今まで気づかなかった災害リスクや緊急事態時におけるメディアや行政情報に加えて局地状況の把握法などの再確認と見直しが期待されます。感染症に対しては子どもの安全と保育の持続に向けた対策を保護者と一体になり作り上げていくことが期待されます、また対策に伴って増える可能性のある業務負担を抑える取り組みも期待されます。

- (3) 前回受審時に改善すべき事項として苦情解決の取り組みについては理事会への報告が遅れることなく全体周知できる事柄については全体周知し個々に対応するように改善できています。また日々の保育に反映されるよう積極的に取り組んでいます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の受審から5年が経ち、今年度3回目の受審でした。外部から見ていただくことで、改善できているところや見直していくところに気付くことができました。今回の第三者評価結果を基に職員と一緒に日常の保育を見直し、改善を重ねながら、保育の質の向上に努めていきたいと思えます。

今回の受審にあたり、丁寧に観察、評価をしていただきました評価機関の皆さま、お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆さまに、感謝申し上げます。

社会福祉法人 新考会 はぐくみの丘保育園

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり